

中嶋嶺雄氏に聴く

「靖国」に固執する中国

問題は中国の内政事情から

日本重視の「新外交」政策を打ち出したはずの中国・胡錦濤政権で、逆に靖国神社批判が強まってる。小泉首相の参拝を政府要人は「A級戦犯が祀られてる」「絶対に受け入れられない」と繰り返して、首脳相互訪問の停滞は首相参拝にあると決めつける見方さへある。しかし、なぜそれほどに中国は靖国神社攻撃に固執するのか。いはゆる靖国神社問題の抜本解決はあり得るのか――現代中国学の第一人者である中嶋嶺雄氏に聴いた。



政治家に信念がない

撃が止みません。

「いはゆる靖国問題が

――中国の靖国神社攻

日中間のトゲのやうにな

抵抗がすごく、中曽根首

「風見鶏」ですね。

り始めたのは中曽根内閣

相が訪中したとき、激し

「ナシヨナリストらし

のときでした。『公式参

い反中曽根デモが起きま

い発言の合間に、A級戦

拜』と宣言して参拝し、

した。靖国参拝を叩くこ

犯の『分祀』を主張した

中国が批判した。

とで、胡耀邦の追ひ落と

り、本音が見え隠れする。

当時、中曽根首相は胡

耀邦総書記らと新しい日

やはり信念の問題でせ

中関係をつくろうとし

こったわけです。

う。一見強く見えるけれ

て、三千人の日中友好青

けれども中曽根首相に

ど、どこが弱点か、中国

年交流なんかを始めてゐ

も問題があった。一国の

はちゃんと見てゐた。弱

た。日中関係は基本的に

首相として信念を貫くべ

みをついたら、見事にぐ

は良くなるはずでした。

きだったのに、翌年から

題の原点だと思ひます」

ところが胡耀邦は改革

参拝をやめちゃったわけ

派でしたから、保守派の

です。ここに靖国問題が
(4面に続く)

「靖國」に固執する中国

米国と対する一種の覇権主義

(一画から続く)

階級史観に屈するな

— そもそも日中では死生観が異なりますね。

「百八十度違ひます。

中国では『悪人は死んで悪人』です。杭州の岳飛廟に行くとき、『救国の英雄』の岳飛は祀られて、『裏切り者』の秦檜の像はツバをかけられる。日本は亡くなればみんな仏様になるといふやうな素朴な死生観です。

— だとすると、どうすれば解決できますか？

「第一に、A級戦犯だけを切り離して考へる発想がまさに階級闘争史観なわけです。一部の悪い者があつて、人民はみんな正しい。悪者が人民を搾取するといふのはマルクス・レーニン主義の史観です。さういふ歴史観に、日本の精神の根幹に触れるやうな靖國問題を左右されてはいけません。

A級戦犯の合祀がけしからんといふけど、A級戦犯だけで戦争に走った

わけじゃない。私は終戦のとき小学校三年生でしたが、当時は新聞も学校も隣組も、日本中が総動員態勢を作つた。一部の者が悪くて、あとは正しかったといふ歴史的事実はありません。

二番目に日本は『戦争責任』を取つてゐないわけじゃない。A級戦犯は極東裁判で裁かれたし、わが国は戦後、『平和国家』を築いてきた。中国では国共内戦から、大躍進政策、文化大革命、最近の天安門事件まで、どれだけの人が犠牲になつたか。いまでもチベットなど少数民族が抑圧されてゐる。日本と中国は国のかたち」が根本的に違ふ。日本の方がはるかに成熟した平和国家で、中国から批判されるいはれはありません」

近代化を怠つた中国

「第三の論点は、『戦争』の期間をどこからどこまで設定するかで、いろいろの評価があり得る

「第三の論点は、『戦争』の期間をどこからどこまで設定するかで、いろいろの評価があり得る



なかじま・みねを「昭和十一年、長野県松本市生まれ。国際社会学者。東京外国語大学教授、同学長などを歴任。現在、国際教養大学理事長・学長、アジア太平洋大学交流機構国際事務総長。主著に『現代中国論』『北京烈烈』『日中友好』という幻想』など。生家に近い四柱神社の境内が子供の頃の遊び場で、お祭りにはお囃子のリーダーを務めてゐた。同社が「心の原点」と語る。

全権大使・李鴻章が語つてゐます。『中華思想のおかげで自分たちは近代化できなかった』。

— 中国は尖閣諸島にも強いこだわりを持ってゐます。なぜですか？

「一種の軍事目的ですね。資源も含めて」

— 沖ノ鳥島にも触手を伸ばしてゐます。

「一緒です。中国が海がまったく違ふ。日本人は一元的な信仰をして、社会には諸宗教が共存し合つてゐる。それが日本で、さういふ多元的な宗教社会観の中に靖國神社がある。靖國神社は日本の神社であつて、日本人が参拝することを中国から批判されるいはれはないんです。

最後、日本と中国では、神道に対する感じ方がまったく違ふ。日本人は一元的な信仰をして、社会には諸宗教が共存し合つてゐる。それが日本で、さういふ多元的な宗教社会観の中に靖國神社がある。靖國神社は日本の神社であつて、日本人が参拝することを中国から批判されるいはれはないんです。

なかじま・みねを「昭和十一年、長野県松本市生まれ。国際社会学者。東京外国語大学教授、同学長などを歴任。現在、国際教養大学理事長・学長、アジア太平洋大学交流機構国際事務総長。主著に『現代中国論』『北京烈烈』『日中友好』という幻想』など。生家に近い四柱神社の境内が子供の頃の遊び場で、お祭りにはお囃子のリーダーを務めてゐた。同社が「心の原点」と語る。

ピン、台湾、マレーシア、インドネシアと領有権を争ってゐる西沙諸島は、もう実効支配して、築港までしてゐる。そしていまは南沙諸島が焦点になつてゐて、そこにも基地を作つてゐます。

あれだけ国土の広い中国が、次々に危険な拡張主義に走つてゐる。それと靖國問題とは切り離して考へるわけにいかない。一方では日本を攻めて、弱みを突いておきながら、他方では着々と世界戦略を固めようとしてゐるんです」

——米國との衝突は必ずですね。
「二十一世紀は中国の世紀」といふのが中国の狙ひでせう。そしてやがては米國と対抗する一種の覇権主義ですね」

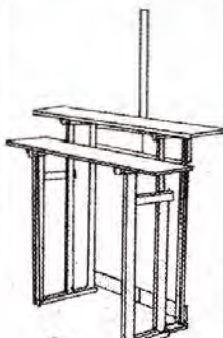
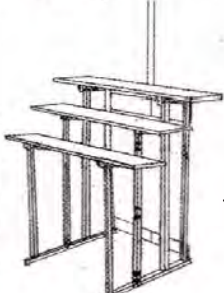
——今年の国連人権委員会会議では米中が火花を散らしました。
「ブッシュ政権は米中関係にもっと一貫性をもつべきです。そして、もし台湾海峡が危険な状況

になれば、あるいは台湾がいまの中国に吸収されるやうな事態になれば、いちばん被害を受けるのは日本です。イラク問題で協力する日本は、対中国・対台湾政策がぶれないやうに強く米國を説得する外交を進めなくちゃいけない」

自由国家になるなら
——日本を戦略的に重視する「新外交」政策が話題になつてゐます。
「『新外交』は日本では評判がいいけれども、中国国内で評価されてゐるかといふと、さうじゃない。天安門事件の前にも多くの反体制知識人が活躍したけれども、結局、潰されちゃひます。中国の体制側が方針を変へるかどうかといふことを見極めなければいけない。もちろん中国がアジアの自由貿易市場を作りたいとか、北朝鮮問題をうまく利用して、イメージアップやある種の協調外

交を考へてゐることは事実です。しかしそれなら靖國問題をこんな批判しなればいけない。あの国の政策は偶然に出てることは絶対にない。共産党の独裁国家ですから」
——当分は様子を見る必要がある？
「江沢民グループが現に存在し、軍部を統括してゐるわけです。台湾問題で中国が柔軟姿勢

出張祭典八脚案(串付) (桐材)
(二段案・三段案が一台で兼用できます)
脚部背板中折式

(瑠璃灯籠・抱きみくじ筒) 掲載
資料御請求下さい

实用新案第3094506号
神祭具・御装束・神社授与品
〒134-0084 東京都江戸川区東葛西5-4-10

天國吉装束店
TEL03-5675-6181
FAX03-5675-6182

神社のための管理ソフト
夢の社務業務一括管理システム

崇敬者情報
社頭祈願
出張祭典
兼務神社
神葬祭
授与品
大麻頒布
総代役員
官公庁届出書類

パソコン一台ですべて管理します!
社務はおまかせ
夢福神

栃木の神職有志が開発
頒価49,800円也(税別)
ウインドウズのマイクロソフトアクセスが別途必要となります。

■監修 ■栃木県神社広報会議
■販売・問合せ先 ■(有)イーズ
〒321-4337
栃木県真岡市上高間木2-12-4
Tel 0285-80-5320
Fax 0285-80-5340

交を考へてゐることは事実です。しかしそれなら靖國問題をこんな批判しなればいけない。あの国の政策は偶然に出てることは絶対にない。共産党の独裁国家ですから」
——当分は様子を見る必要がある？
「江沢民グループが現に存在し、軍部を統括してゐるわけです。台湾問題で中国が柔軟姿勢